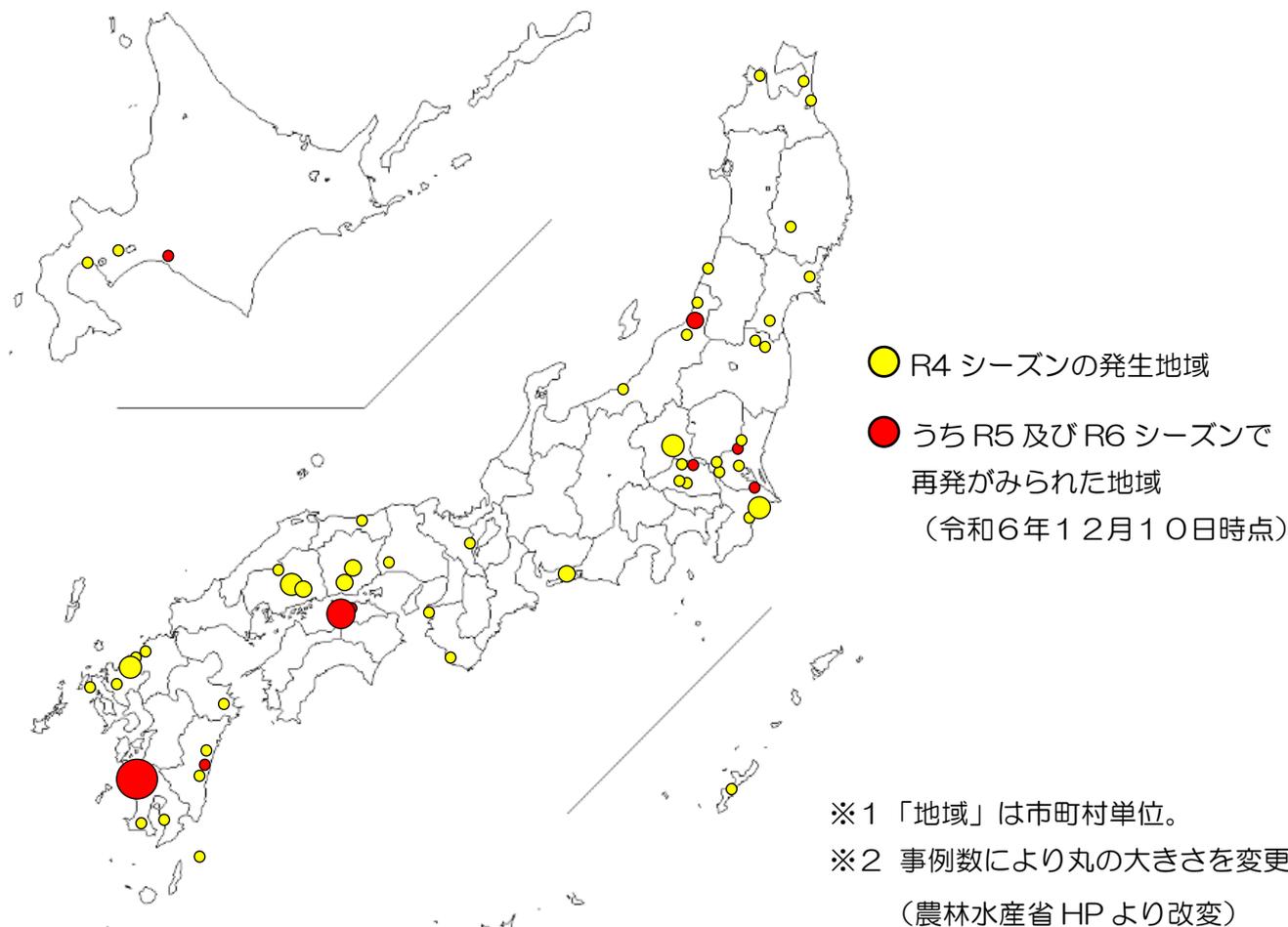


# 家畜衛生だより

## 全国で高病原性鳥インフルエンザが続発しています

今シーズン、家きん飼養農場における高病原性鳥インフルエンザは、11道県13事例発生しています（12月10日時点）。これは、家きんで過去最多発生となった令和4年シーズンに次ぐペースで、過去の発生地域における再発が多く認められています。



また、野鳥においては、11月29日に埼玉県熊谷市で回収されたハヤブサで、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されており、県内のどの地域でも発生する可能性が極めて高い状況となっています。

引き続き、飼養衛生管理について徹底いただくとともに、改めて各項目の実施状況を見直し、不備がある場合は早急に改善をお願いいたします。

また、鶏舎構造や周辺環境を踏まえ、ウイルスが農場に侵入し得る「隙」を埋めるような対策の実施をお願いいたします。（対策については裏面をご覧ください⇒）

# 「隙」を埋めるための対策

## 鶏舎設備の点検・補修

- ✓ 普段は目の届かない屋根裏やモニターの点検
- ✓ 金網や防鳥ネット等の補修



## 塵埃侵入防止

- ☆ 乾燥し塵埃が舞いやすい環境下で換気  
→入気口周辺に死亡鶏が分布（今シーズンの事例）
- ✓ 入気口フィルター（左下写真）や細霧装置（右下写真）の設置
- ✓ 乾燥環境下における散水・消毒



## 野鳥や野生動物の誘引・侵入防止対策

- ✓ 鶏舎内や堆肥舎に卵や死亡鶏を放置しない
- ✓ 野鳥の住処になるような樹木の伐採
- ✓ ため池の水抜きやテグス設置
- ✓ 鶏舎屋根へのテグス設置
- ✓ 集卵・除糞ベルトの隙間を塞ぐ等、鶏舎開口部の対策



## 農場外の関係者を含めた飼養衛生管理の徹底

- ✓ 農場“外”関係者の出入りの際の消毒等の徹底
- ✓ 不要不急の工事の延期



（農林水産省 HP より改変）